



育み 成長を支え 未来を拓く まちづくり予算



本市が目指すまちの姿「未来を担う 人を育むまち・豊橋」の実現に向け、子育てや産業振興などの取組みを進めます。「選ばれるまち」となるため、重点的に推進する取組みをはじめ、未来への投資を積極的に行います。

問合せ 財政課 (☎51・2140) HP 10519

まだまだ他にも
取組みがあるじゃんね!



予算の見どころ



水道事業
3.3%

下水道事業
5.9%

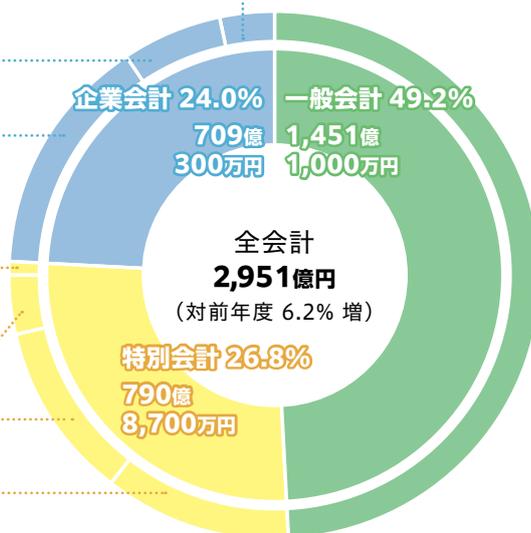
病院事業
14.8%

その他 特別会計
0.8%

後期高齢者医療
3.7%

競輪事業
10.9%

国民健康保険事業
11.4%



重点的に推進する主な取組み

活みなぎる「しごとづくり」

未来を担う産業人材の育成を支援

地域事業者の生産性向上に向け、デジタル技術を活用するDXなどのリスクリングを中心とした学びと交流を促す新たな仕組みを構築し、社会環境の変化に対応できる主体性のある人材の育成を支援します。



5,659万円

笑顔あふれる「子育て・教育環境づくり」

小・中学校の給食費を半額軽減

市立小・中学校などの学校給食費の半額を市が負担するとともに、弁当を持参する児童生徒や私立学校などに通う児童生徒の保護者に半額軽減相当額を助成します。



事業費 2,000万円
軽減額 7億5,200万円

持続可能で暮らしやすい「都市空間づくり」

総合的な防犯対策の推進

地域の防犯力を向上させるため、1年あたり250台の防犯カメラを設置し、4年間で1,000台の設置を目指します。また、日常生活で防犯の視点を持ちながら行動する「ながら防犯」活動を推進します。



4,711万円

選ばれ集う「ひとの流れづくり」

豊橋市を舞台にした作品を活用し、市内外へ情報を発信

ご当地漫画「だもんで豊橋が好きって言うじゃん!」や、2024年7月にアニメ化される小説「負けヒロインが多すぎる!」などを活用し、まちのブランド化やファンづくりを進めます。



1,362万円

分野別計画に基づく主な取組み

活力みなぎり、はつらつと働けるまち

農業経営の基盤強化

持続可能な農業を目指し、地域農業の将来のあり方を示した地域計画の策定などにより農地の集約を図ります。また、生産基盤の整備や気候変動、社会情勢などのリスク対策に取り組む農業者を支援します。



豊かな人間性を備え、未来を創る人が育つまち

経済的負担の軽減や子育て支援サービス拡充による子育てしやすい環境づくり

18歳到達年度末までの医療費や保育料の無償化による経済的負担の軽減に加え、乳児期の家事代行サービスや市役所来庁者向けの託児サービスなどの充実を図ります。



みんなで支え合い、笑顔で健やかに暮らせるまち

一人ひとりの希望に寄り添う「チームオレンジ」が始動

認知症の方やその家族の希望を聞き、支援につなぐ「チームオレンジ」を立ち上げるなど、認知症になっても住み慣れた地域で、自分らしく暮らすことができる体制をつくります。



命の安全、心の安心が確保されたまち

災害時に迅速な対応を行う体制を強化

令和5年6月の豪雨災害を踏まえ、水上オートバイを活用する特殊水難救助隊の出动体制を強化するほか、避難所にペットと同行避難する訓練などを実施し、災害対応力の強化を図ります。



暮らしの基盤が整った、便利で快適なまち

空家相談窓口の開設

空家問題を抱える方を対象に、アドバイザーがオンラインや電話で相談に応じて内容を整理し、不動産業者や解体業者、司法書士など案件ごとの事業者にマッチングします。



互いを尊重し合い、心豊かに暮らせるまち

アジア・アジアパラ競技大会に向けたスポーツ施設の改修

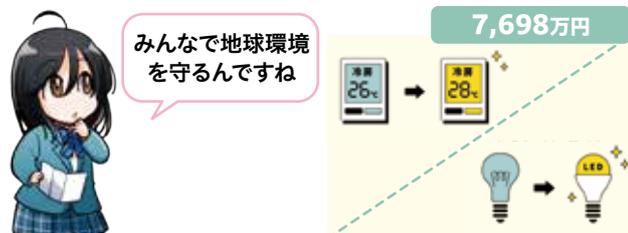
令和8年度に愛知県で開催されるアジア・アジアパラ競技大会に向けて総合体育館や市民球場の改修を行い、スポーツ環境の向上を図ります。



自然と共生し、地球環境を大切にすまち

ゼロカーボンの推進

市域全体で一丸となって脱炭素に取り組むため、公共施設の設備導入をはじめ、市民・事業者が自分ごととして行動ができるよう情報発信や支援策に取り組みます。



魅力にあふれ、いきいきとにぎわいあるまち

まちなかの新たな再開発事業を支援

中心市街地における老朽街区の解消や商業機能の再生、都心居住を促すため、豊橋広小路一丁目北地区で検討中の再開発事業を支援します。

